

## 【審議事項】 西元町一丁目公園整備について

### ◆公園整備事業の経緯◆

国分寺市教育委員会が進めている国史跡武蔵国分寺跡の史跡整備事業は、令和元年度に検討した伽藍中枢部周辺地区基本設計に基づき、令和4年度以降は南門地区の整備工事を進める予定です（～令和7年度完成予定）。

そうしたなかで、国史跡の指定範囲と大部分で重複指定されている都市計画緑地「国分寺緑地」でも、緑地整備を進めていくこととなりました。その対象地は、国分寺崖線上の薬師堂北側にある約1,000㎡の市有地です。

当該箇所は、大正11年に国史跡として指定を受けた場所で、指定当時は国分寺所有地でしたが、後に市が公有化し、昭和40年代の初め頃に国分寺保育園が設置されました。

『史跡保存管理計画』では、史跡の本質的価値から外れる保育園施設は、将来的に史跡地外への移転が望ましいとされ、平成29年に保育園機能を終えた建物を除却し、その後、何も活用されない状況が続いていました。

また、当該地は『史跡武蔵国分寺〔僧寺地区〕新整備基本計画』上では、「北方地区」とゾーニング区分された範囲に含まれ、将来的な整備姿は、周辺緑地に見合った環境整備を施す、と位置付けています。

そのうえで、

- ①令和4年は武蔵国分寺跡が国史跡指定**100**周年の記念年を迎えること
  - ②当該地は**100**年前に国指定を受けた場所であること
  - ③当該地は国分寺市の市有地であること
  - ④当該地は塩漬けの状態で、何も活用が図られていない現状があること
  - ⑤隣接して市立第四小学校があること
  - ⑥当該地は長らく地域の子どもたちが集っていたレガシーがあること
- などから、当該地に史跡と緑地がマッチした公園整備を目指したい、と市では考えています。

一方、当該地を古代武蔵国分寺の遺跡マターで見た場合に、この一帯は武蔵国分寺を支えた庶民たちが暮らした奈良～平安時代の竪穴住居が多数分布している地域に該当します。

付近には、昭和**36**年に市でははじめての指定文化財となった「土師竪穴住居址」が保存されています。

# MUSASHI KOKUBUNJI PARK

## (広域避難場所)

Safety evacuation area

この公園は旧国鉄の「中央鉄道学園」、郵政省の戸建て宿舍などの跡地を整備して作られました。

公園を含む周辺地域は埋蔵文化財包蔵地に指定されており、土器時代から人々の営みがあったことが知られています。

公園西側には東山道武蔵路跡があり、国分寺駅に接する南側「お霊の道」や「真実の池」、さらに「武蔵国分寺跡」に続いています。周辺の湧水群は「日本名水百選」にも選ばれています。

公園は都道を挟んで北の泉地区、南の西元地区に分かれています。泉地区には外周500mの「円形広場」、「武蔵の池」、「雲の噴水」があり、ウォーキングなどに利用されています。

地形の起伏を活かした西元地区には、木々に囲まれた「こもれび広場」、「野鳥の森」があり、武蔵野の自然を感じることが出来ます。周辺の自然環境、文化・歴史的遺産との調和を図ると共に、広域避難場所としての防災機能も備えた総合公園です。

東山道武蔵道

国分寺市  
新庁舎  
国分寺  
消防署

市立  
第4小学校

整備対象地

国分寺  
薬師堂

市指定史跡  
土師竪穴住居跡

西元消防署

### 凡例 Legend

- |   |   |
|---|---|
| サービスセンター<br>Service Center                    | AED設置<br>Automated External Defibrillator (AED) |
| だれでもトイレ<br>Universal Toilet                   | 授乳室<br>Breastfeeding Room                       |
| 水飲み場(70℃アフリー)<br>Drinking Fountain (70℃ Free) | ベビーベッド/ベビーチェア<br>Baby Beds and Baby Chairs      |
| 駐車場<br>Car Park                               | 休憩所<br>Rest Area                                |
| 駐輪場<br>Cycle Park                             | 防災トイレ(マンホール型)<br>Mushroom Toilet                |
| バイク置場<br>Motorcycle Park                      | 災害救援ベンダー<br>Disaster Relief Machine             |
| バス停<br>Bus Stop                               | 井戸<br>Well                                      |
| 公衆電話(Wi-Fi)<br>Public Phone (Wi-Fi)           | 車いすルート<br>Wheelchair Route                      |



0 100 200 300m 武蔵国分寺公園サービスセンター 042-222-8100

整備対象地は北～東を都立公園、西～南を国分寺薬師堂に接し、接道はしていません





整備対象地  
(北東から撮影)



A black metal fence with a gate, set against a background of bare trees and a residential area. The fence is made of black metal mesh and has a gate in the center. The gate is closed and has a circular handle. The background shows a line of bare trees and a residential area with houses. The sky is blue with some clouds.

市立第4小学校

整備対象地  
(東から撮影)





東山道

白鳥幼稚園

市指定史跡  
土師豎穴住居跡  
(国分寺公園内)





市指定重要史跡「土師堅穴住居跡」

国分寺公園(国分寺様御提供用地内)

縄文土器の研究で名高い甲野勇が、昭和31年に発掘調査を行った。甲野は、平成20年まで国分寺境内にあった文化財保存館の設立に尽力した。



竖穴住居趾にて判明せる事項

武蔵国分寺をめぐる竪穴住居跡については、昭和二十四年以來しばしば調査され、金堂講堂跡の北方、武蔵野段丘上、滝久保に薬師堂を以てさんで、その東西に分布していることがあきらかにされてゐる。今までに調査されてゐる竪穴の数は十四ヶ所、いずれも国分寺跡で発見される古瓦と同度の瓦で窯を築きその内部より土師器、須恵器、灰釉及び緑釉陶片、鉄製の鉄、鐵、刀子等が出土するので国分寺とほぼ時代を等しくするものと推定される。

ただ従来の発掘はいずれも史跡指定地外で行われたもので、指定地内の情況は全く不明であった。今回の調査はこの指定地内で行われたものである。薬師堂の西、八幡社の西北の地に於て竪穴四ヵ所を発見することを得た。このうち二ヵ所は段丘上を東西に走る壕の内側（南方）にあり、他はこの外側（北方）に於て発見されたものである。

この壕は以前からその存在を知られていたのであって、東は小林理科学校研究所の構内にはじまり、西は意久保住宅地に終るものであるが、その中間は指定地に属するため調査することゝできなかったが、今回の発掘によって、樂師堂の西方に於てこれを発見し、従来の予想をほぼ確認することを得た。

調査した住居は左の通り

堅穴 1. 道路によって破壊され詳しく調査し得なかつた。

豎穴2 四米×四米二〇の方形 窯は北壁に二カ所 東壁に一カ所兒形土器  
八臭、礫一個が出土 中央部に互の散布が密であつた。

竪穴3。二米五〇×四米の矩形  
窯は傾斜され北壁に盛り出しがある。土器片の出土をみた。

四米四〇×四米四五の方形。窯は東壁に接して存在したと思われ、  
が破壊されていた。須恵器、灰釉、磁石等が出土し、互も多量であ  
った。







現国分寺市立第四小学校用地の発掘調査（平成8～10年の合成写真）

調査面積：9,470㎡

発見された遺構：古代の竪穴住居 24 軒、擬立柱建物 10 棟、溝 5 条、土坑 75 基、墓 3 基 等

縄文時代の竪穴住居 1 軒、土坑 127 基、小穴 1,164 基

旧石器時代の石器集中部 2 ヶ所

出典：武蔵国分寺跡発掘調査概報 29



火災を受けた竪穴住居。屋根の垂木が焼けた状態で発見された。（476次調査 SI667住居）



（431次調査 SI544）



（431次調査 SI547）

この辺りの竪穴住居は、煮炊きを行うカマドの材料に瓦を使っていることが特徴的である。



史跡公園整備イメージ図



8/17に整備設計素案を御呈示いたしますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。